

統計とっとり

平成27年3月
第104号
鳥取県地域振興部統計課
TEL 0857-26-7665
FAX 0857-23-5033

統計課ホームページアドレス <http://www.pref.tottori.lg.jp/toukei>

今年も国勢調査の実施年です。



概要

調査の期日 平成27年10月1日

調査の対象 日本国内に住んでいるすべての人(外国人を含む)及び世帯

調査の事項

- 世帯員について (13項目)
「氏名」「男女の別」「出生の年月」「世帯主との続柄」「配偶の関係」「国籍」
「現在の住居における居住期間」「5年前の住居の所在地」「就業状態」
「所属の事業所の名称及び事業の種類」「仕事の種類」「従業上の地位」
「従業地又は通学地」
- 世帯について (4項目)
「世帯の種類」「世帯員の数」「住居の種類」「住宅の建て方」

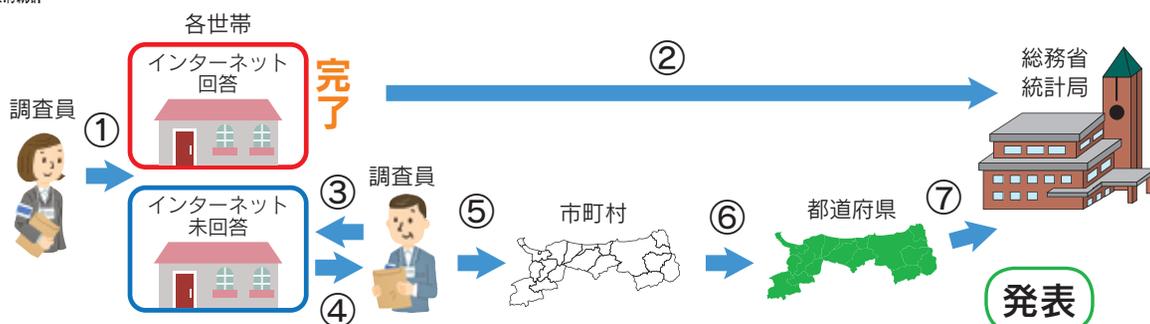


目的

国勢調査は、日本国内に住むすべての人と世帯を対象とする、我が国で最も基本的な統計調査です。国内の人口や世帯の実態を明らかにするため、統計法(平成19年法律第53号)第5条第2項の規定に基づき、大正9年以来5年ごとに実施されており、今回が20回目に当たります。国勢調査の結果は福祉施策や生活環境整備、災害対策など、日本の未来をつくるために欠かせない様々な施策の計画策定などに利用されます。



調査方法



- ① 調査員が全世帯にインターネット回答用のID・パスワード等を配布
- ② 各世帯がパソコンやスマートフォンで回答 ~インターネット回答世帯は調査完了~
- ③ 調査員がインターネット未回答世帯に調査票を配布
- ④ 調査員が各世帯の調査票を回収、又は各世帯が調査票を郵送提出
- ⑤ 市町村が調査票を集約
- ⑥ 都道府県が調査票を集約
- ⑦ 総務省統計局が調査票を各都道府県から集めて集計





新たな取組

1. オンライン調査の推進

○オンライン調査の全国展開

平成22年調査の際、東京都限定で試行されたオンライン調査（回答率 8.3%）を平成27年調査では全国で実施します。

○オンライン調査先行方式による調査の実施

最初に調査員がオンライン回答用のIDとパスワード等を配布してオンライン回答を受け付けし、その後、オンライン回答のなかった世帯に調査員が調査票を配布・回収します。

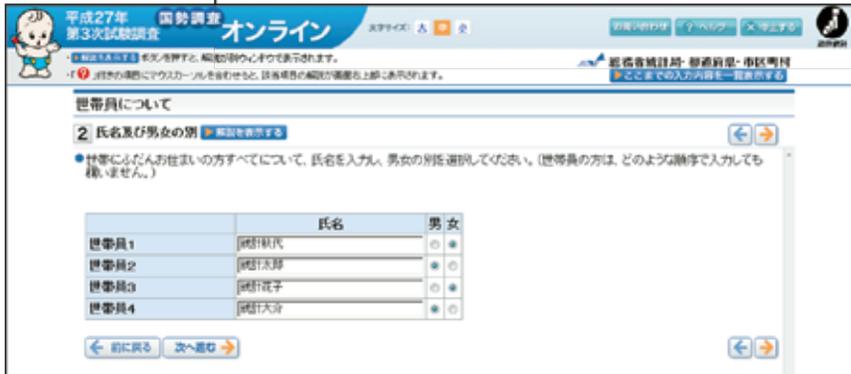
約15分程度の
入力時間で完了!



ログイン画面



回答入力画面 (氏名及び男女の別)

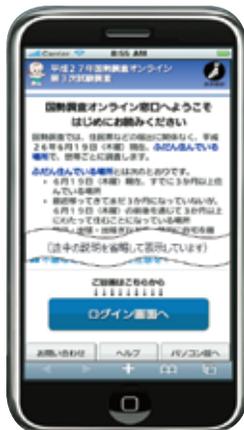


※イメージの参考として第3次試験調査時の画面を利用しています。

○スマートフォンにも対応したシステムの構築

近年のスマートフォンの急速な普及を踏まえ、スマートフォンでの回答も可能となります。

トップ画面



ログイン画面



回答入力画面 (氏名及び男女の別)



オンライン
回答なら
記入漏れの
心配が
ありません!



※イメージの参考として第3次試験調査時の画面を利用しています。

2. 調査票の提出方法の改善

○任意封入提出方式の導入

高齢者世帯の増加に伴い、調査員による記入の支援や記入内容の確認などを必要とする世帯への対応として、調査票の調査員への提出は任意封入方式とします。

3. 円滑な事務処理のための民間事業者の活用

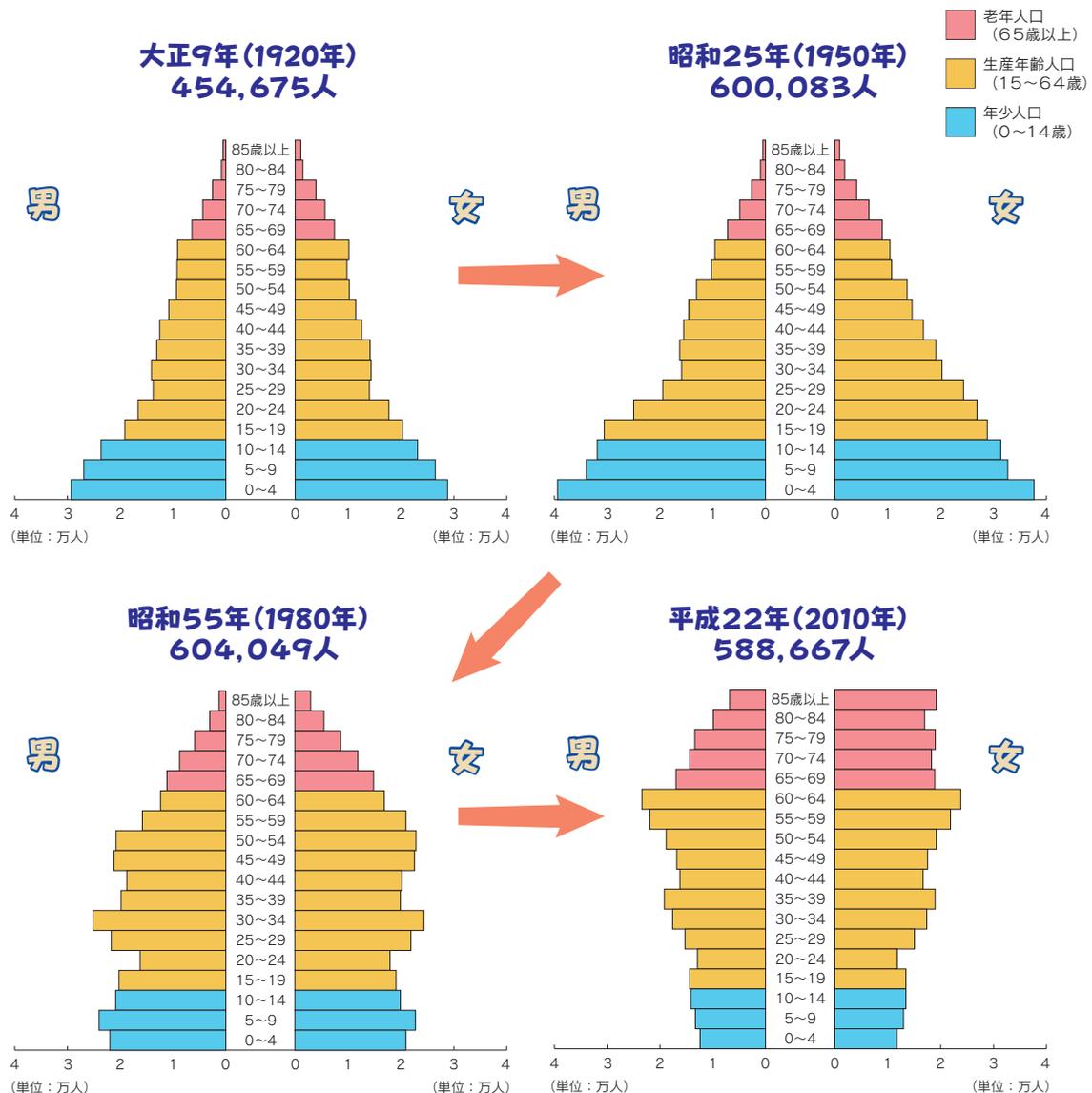
○コールセンターの充実・強化

これまでの世帯からの照会への対応に加え、新たに調査員からの照会にも対応するとともに、オンライン調査に係る技術的な照会に対応するため、オンライン調査テクニカルサポート窓口が設置されます。



これまでの国勢調査データから

〔鳥取県の人口ピラミッド〕



平成27年はどんな形のピラミッドを描くのでしょうか…

鳥取県統計調査員会の事業紹介

「鳥取県統計調査員会」は、統計調査員の資質向上、統計に関する普及啓発及び調査員相互の親睦を図ることを目的として平成10年に発足した任意団体です。登録調査員のうち、入会を希望されたかたがたで構成されています。

会長：小谷 邦子 会員数：166名（※ 平成27年1月末現在）

平成26年度の新たな取組

統計出前授業へのチャレンジ

「鉄は熱いうちに打て」ということわざがありますように、小学校等での統計教育の重要性を改めて感じ、様々な統計データが一人ひとりの調査協力のもとに成り立っていることを児童達に伝えていきたいという思いで始めました。

鳥取市立明德小学校出前授業の様子

日時 9月30日（火） **対象** 小学4年生 27名

明德小学校区のまちごとの人口や小学生の児童数など、児童に身近なデータを統計グラフであらわし、過去から現在への変化などを統計クイズを交えてパワーポイントにより紹介しました。



小谷会長のあいさつ

児童は、明德地区の人口や人口ピラミッドの変化に興味を示し、鳥取県に関する統計クイズへの正解率も高い結果となりました。また、小谷会長から「正確なデータを得るためには、調査協力が大前提であり、皆さんも将来統計調査にぜひ協力をお願いします」という話を聞いて、「大人になったら統計調査に協力する!」と言ってくれた児童もいました。



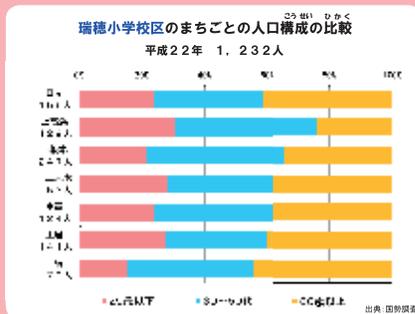
クイズに答える児童達の様子

鳥取市立瑞穂小学校出前授業の様子

日時 12月3日（水） **対象** 小学4～6年生 15名

明德小学校の時と同様に、瑞穂地区の人口や農家数など地域のデータを交え、統計グラフから読み取れる調査結果の特徴などを紹介しました。

【スライドの一部を紹介】



統計クイズ 第5問

次のうち、鳥取市が全国で1番お金を使って購入している果物はどれ？
（平成23～25年平均全国ランキング 家計調査）

A:バナナ B:いちご C:ぶどう



児童は統計クイズにも積極的に参加し、正解数上位の児童を優秀賞として表彰しました。「今回の授業を聞いて、次回の国勢調査の結果が楽しみだ」という感想もありました。



授業に聞き入る児童達



統計クイズ正解上位者への表彰



戸田調査員からの手品披露

統計出前授業の活動は小学校だけにとどまらず、鳥取市消費者団体連絡協議会や男女共同参画推進会議等の場へ広がっています。今後も東部地区だけでなく、県内全域で積極的に活動していきたいとのことです。

各種研修会への派遣

第64回全国統計大会

全国統計大会は、10月18日「統計の日」の関連行事の一つとして、国、地方公共団体、関係団体などの統計関係者が一堂に会し、開催されています。

今年度は本会会員の中から岸本調査員、坂口調査員の2名を派遣しました。

主催 総務省、公益財団法人統計情報研究開発センター

開催日 11月19日(水)

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）

内容

- 各種表彰・「統計調査功績者」各省大臣表彰
 - ・第62回統計グラフ全国コンクール入賞者表彰
 - ・平成26年度「統計の日」標語入賞者表彰

○大内賞授与

○第35回統計シンポジウム



〔左から〕坂口調査員 センサスクン 岸本調査員

今回のシンポジウムでは、『ICT化の進展と統計作成-オンライン調査の現状と展望-』をテーマとして、有識者や統計関係者によるパネルディスカッションが行われました。オンライン調査の推進にあたり、平成27年国勢調査ではインターネットのみならずスマートフォンからも回答できるようになることを受けて、今後予想される様々な問題が議論されました。



ICTとは、Information and Communication Technology（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）の略で、日本語では一般に“情報通信技術”と訳されます。

オンライン調査の選択肢を増やすことにより回答者の利便性向上に繋がり、回答率を上げる効果があると考えられ、国、地方自治体、調査員が一体として推進すべきものであること、特に平成27年国勢調査では全世帯を対象とするオンライン調査への期待が高まっています。

その他の活動

「統計の日」街頭PR

10月18日の「統計の日」に合わせ、県内の駅などで、通勤者や通学者、買物客などに対して、統計の重要性に対する理解と関心を深めていただけるよう、啓発用物品を配布しながら「統計の日」の周知を図りました。

また、併せて平成27年10月1日に実施される国勢調査への協力を呼びかけました。



鳥取駅で啓発用物品を配布する様子

そのほかにも、年2回の自主研修会や県内で開催されるイベントで統計パネルを展示されるなど、統計調査の普及啓発活動に積極的に取り組まれています。

会長のひとこと

鳥取県統計調査員会として、調査を円滑に実施するために何かできないかと模索していた矢先、統計課の協力で新たに出前授業の取組を始めることとなりました。授業を行うたびに児童達の反応に勇気づけられ、またロコミで出前授業を希望される声に、慣れないながらもパワーポイントを使い、調査の重要性などを説明しました。

「調査結果が国の将来や日々の暮らしに結びついていることが理解できた」という声に、改めて啓発活動の大切さを感じているところです。

◆入会を希望される方は、下記へお問い合わせください。

年会費 1,000円

<お問い合わせ先>鳥取県統計調査員会事務局 小谷 邦子 0857-23-4338

平成26年度都道府県別登録調査員研修

総務省主催による都道府県別登録調査員研修は、調査活動経験の浅い登録調査員に対し、基礎的知識の付与を目的として平成22年度から実施されています。今年度は東部会場で39名、中部会場で14名、西部会場で17名のかたがたが参加され、好評を得ました。

開催日

東部会場（県庁）	9月1日（月）
中部会場（県中部総合事務所）	9月2日（火）
西部会場（県西部総合事務所）	9月3日（水）

内容

1. 講義「接遇・話し方について」

講師：(株)アヴニールインターナショナル

麓 一美氏
平澤 仁美氏



西部会場で講義される平澤講師

講義では、東・中部会場は麓氏、西部会場は平澤氏が講師を担当され、添乗員として培った経験をもとに、調査に携わる者の心構え、第一印象の重要性や仕事上のマナーの心得について、ロールプレイングを交えながら説明いただきました。

2. 班別意見交換会

テーマ①「私のヒヤットと体験」
テーマ②「書類の整理方法」
テーマ③「調査拒否への成功事例」

班別意見交換会は、経験者・未経験者を交えた5～6人ずつの班に分かれ、経験者主導のもと自身の調査体験談を紹介しながら、①～③の各テーマに沿って進められました。

参加者からは、「経験者からのアドバイスを受けることができ、未経験者にとってはとても有意義な時間であった」「ベテランのかたの調査の進め方や整理方法が大変参考になった」「テーマを3つに分けることで色々な意見が聞けて良かった」などの感想をいただき、今後の調査活動に役立つ知識が得られ、調査員同士の交流の場としていただけたようです。

最後に、徳永統計課長から改めて、調査関係書類などの紛失事故の再発防止についての話しもありました。



東部会場の班別討議の様子

※ 当日のご都合がつかず、研修に参加できなかったなどで研修資料の提供を希望されるかたは、気軽に統計課までお問い合わせください。

平成27年度新規事業として『登録調査員初任者研修』を開催！！

経験年数2年未満の登録調査員（各市町村から2～3名を選定）のうち、今後統計調査員としての活躍が期待されるかたを対象に、統計調査に係る基礎的・実践的内容の講義や調査活動への意欲に繋がる意見交換等を行う予定です。

また、経験豊富な統計調査員から、問題解決に繋がる助言をいただく場も設けます。

平成26年度統計功労者表彰式・統計セミナー

11月7日（金）倉吉交流プラザにおいて開催し、約60名のかたに参加いただきました。

統計功労者表彰式

表彰式では、統計に功績のあった調査員や事業所に対し、各省大臣表彰、鳥取県知事表彰が行われました。各省大臣表彰は、総務省大臣官房参事官（統計局担当）水上 保氏から、鳥取県知事表彰は徳永統計課長から伝達されました。



表彰状の授与



受賞者席



手嶋調査員による謝辞

受賞者を代表して、鳥取県知事表彰受賞者 手嶋調査員から「私が調査員として第一に心がけていることは、お忙しい中、協力くださる調査対象のかたがたへ心を配るということです。まずは訪問先の貴重な時間を割くことのないように出来るだけ要領よく簡潔に訪問の趣旨を説明すること、そして相手の立場に立ってコミュニケーションを図るということです。今後も統計調査を通じて社会の発展に少しでも寄与できることを誇りに思い、一枚の調査票の重みを感じながら活動していきたいと思っております」と謝辞が述べられました。

統計セミナー

表彰式に引き続き、「統計における最近の動きについて」と題して、水上参事官に講演いただきました。講演では、統計の役割及び統計データの利活用的高度化など、主要指標の最新データも交えてお話をいただきました。

また、統計でみる地方の特性として、鳥取県の統計データも紹介され、鳥取県は全国的に見て、女性労働者の比率や高齢就業者の割合が高く、女性と高齢者が頑張っている県といえるのではないかと話されました。

最後に、平成27年国勢調査では、オンライン調査という未来を見据えたビッグチャレンジが実施されることへの期待と皆さんに調査員としてぜひご活躍いただきたいというお言葉を頂戴しました。



講演される水上参事官

受賞の皆様 おめでとうございます

(敬称略、順不同)

<総務大臣表彰>

労働力調査

調査員 宇田川 真由美 (鳥取市)

家計調査

調査員 木下 信子 (鳥取市)

平成25年住宅・土地統計調査

指導員 福寄 敏幸 (倉吉市)

調査員 森脇 真子 (境港市)

各種統計調査

調査員 大羽 昌子 (倉吉市)

調査員 青木 良子 (八頭町)

<経済産業大臣表彰>

構造統計

調査員 堀尾 展道 (鳥取市)

<経済産業省感謝状>

経済産業省所管統計調査

調査員 岸田 絹枝 (倉吉市)

調査員 林原 康子 (境港市)

<厚生労働大臣表彰>

労働統計関係

事業所 寿製菓株式会社 お菓子の壽城 (米子市)

事業所 シャープ米子株式会社 (米子市)

事業所 米久おいしい鶏株式会社 (琴浦町)

事業所 南部町国民健康保険 西伯病院 (南部町)

調査員 手皮 美津江 (鳥取市)

<鳥取県知事表彰>

鳥取県鉱工業生産動態調査

事業所 尾池ファインコーティング株式会社 (倉吉市)

事業所 中山精工株式会社 鳥取工場 (倉吉市)

永年従事調査員

調査員 近藤 由美子 (米子市)

調査員 田中 美子 (米子市)

調査員 手嶋 朱美 (倉吉市)

調査員 林 美幸 (智頭町)

調査員 清水 邦子 (八頭町)

<農林水産大臣表彰>

2013年漁業センサス

調査員 上野 秀雄 (日吉津村)



平成27年度に実施される

統計調査（調査員調査）の一覧

(平成27年3月1日現在)

調査名・調査基準日	市町村委託分	県直接調査分										
	平成27年国勢調査	小売物価統計調査 (動向編)	小売物価統計調査 (構造編)	家計調査	労働力調査	個人企業経済調査	平成27年国勢調査 事後調査	毎月勤労統計調査 (第一種)	毎月勤労統計調査 (特別調査)	商業動態統計調査	鉱工業生産動態調査	
	10/1	毎月	隔月	毎月	毎月	毎四半期	11月 中~下旬	毎月	7/31	毎月	毎月	
市町村							対象市町村未定					
鳥取市	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
米子市	○		○		○			○	○	○	○	○
倉吉市	○				○			○	○	○	○	○
境港市	○			○	○			○	○	○	○	○
岩美町	○	○			○			○	○			
若桜町	○				○							
智頭町	○					○						
八頭町	○				○			○				
三朝町	○				○			○				
湯梨浜町	○				○				○			
琴浦町	○				○			○	○			
北栄町	○				○			○	○			
日吉津村	○							○				
大山町	○							○				
南部町	○											
伯耆町	○							○				
日南町	○							○				
日野町	○								○			
江府町	○											

注1：○印は対象市町村を示す。

注2：毎月勤労統計調査については、実施市町村が変更になることがあります。



アプリ/De統計 ってご存知ですか？

スマートフォンによる統計情報提供アプリです。

総務省は統計におけるオープンデータの高度化に取り組んでおり、その一環として広く国民の皆さんに統計の有益性や便利さを実感していただけるよう、平成26年4月からスマートフォン上で身近な政府統計データの提供が開始されました。



機能1. City Stat

今、自分がいる場所の市区町村の統計データをスマートフォンのGPSと統計API機能を連動させて表示

機能2. ポケット統計

基本的な統計データを手軽に表示

機能3. とうけいどけい

様々な日にちなんだ統計情報や統計にまつわるクイズ、ちょっとした統計グラフの作成

全国市区町村の魅力や観光情報を発信する「ふるさと自慢」も掲載！！
県内も、倉吉市、湯梨浜町など、掲載拡大中！

●ぜひこの機会に、気軽に統計データに触れてみてください。